



東京証券取引所 情報配信システム接続仕様書

Version 2.1

2008年7月7日

株式会社東京証券取引所

本ファイル仕様書は、2008年8月11日（月）から適用される予定です。

目次

1.本仕様書の目的.....	1
2.情報配信システムの概要.....	2
2.1.ファイル転送プロトコル.....	2
2.2.通信回線.....	2
3.全銀手順による接続.....	3
3.1.利用回線.....	3
3.2.通信機器.....	3
3.3.通信速度.....	3
3.4.設定情報.....	3
4.FTP による接続.....	5
4.1.利用回線.....	5
4.2.通信機器.....	5
4.3.設定情報.....	5
4.4.インターネット接続時の留意点.....	6
5. ISDN 接続におけるダイヤルアップの設定.....	7
5.1.ISDN 接続と認証方式.....	7
5.2.IP アドレス.....	7
6.提供ファイル.....	9
6.1.提供対象情報.....	9
6.2.提供ファイル.....	9
6.3.提供サイクル・提供時間.....	9
7.障害時の運用.....	11
7.1.システム障害時.....	11
7.2.情報の誤謬.....	11
7.3.ファイル再取得.....	11
8.連絡先.....	12
9.改版履歴.....	13

1.本仕様書の目的

この仕様書は、

株式会社東京証券取引所(以下「東証」といいます)の提供する情報提供サービス
株式会社日本証券クリアリング機構の提供する情報提供サービス
株式会社証券保管振替機構の提供する外国株券等口座残高データ配信サービス

をご利用いただくにあたり、ユーザーシステムと東証の運営する情報配信システムとの接続に必要な事項を定めるものです。

「情報配信システム」は、上記 ~ のサービスの情報提供業務を行っており、いずれのサービスをお使いの場合でも、システム接続はこの仕様書に従って行います。

なお、各情報提供サービスで提供している情報における、提供サイクル・提供時間・ファイルフォーマット・収録項目の詳細等については、別途、各情報提供サービスごとに用意しているファイル仕様書(ファイル説明書)をご参照ください。

2.情報配信システムの概要

本システムにおける情報提供は、情報配信システムからユーザーシステムへのファイル転送によって行います。

2.1.ファイル転送プロトコル

本システムとユーザーシステムとのファイル転送プロトコルとしては、以下の2つが利用可能です。いずれのプロトコルにおいても、ユーザーシステムが端末側(全銀手順における一次局、FTP 接続におけるクライアント)となります。

全国銀行協会連合会(全銀協)の定める通信手順(以下「全銀手順」といいます。)によるファイル転送

- ・「全銀協標準通信プロトコル・ベーシック手順」(以下「全銀ベーシック手順」といいます。)
- ・「全銀協標準通信プロトコル・TCP/IP 手順」(以下「全銀 TCP/IP 手順」といいます。)

FTP によるファイル転送

2.2.通信回線

全銀ベーシック手順・全銀 TCP/IP 手順の場合、通信回線としては、ISDN を利用します。

FTP の場合、通信回線としては、ISDN またはインターネットを利用します。

利用可能なプロトコルと回線の組み合わせは下表のとおりです。

	全銀ベーシック	全銀 TCP/IP	FTP
ISDN			
インターネット	-	-	

提供ファイルによっては、利用できる通信プロトコル・通信回線が限定される場合があります(ファイル仕様書に記載があります)。詳細はお問い合わせください。

3.全銀手順による接続

3.1.利用回線

情報配信システムとユーザーシステムとの接続回線には、NTT 東日本の提供する総合デジタル通信網(ISDN)(「INS ネット 64」または「INS ネット 1500」)を利用します。

一般電話回線(アナログ回線)や専用回線は利用できません。

3.2.通信機器

全銀ベーシック手順をご利用になる場合は、ユーザーシステムにおいて、ISDN のデジタルデータ回線終端装置(DSU)及び全銀ベーシック手順に対応したターミナルアダプタが必要です。

全銀 TCP/IP 手順をご利用になる場合は、ユーザーシステムにおいて、ISDN のデジタルデータ回線終端装置(DSU)及びダイヤルアップルータ・ターミナルアダプタ等が必要です。

3.3.通信速度

(1) 「全銀ベーシック手順」の場合

回線は、ISDN(64kbps)を利用しますが、全銀手順の仕様上、実際の通信速度は 9600bps となります。

(2) 「全銀 TCP/IP 手順」の場合

回線は、ISDN(64kbps)を利用します。

ISDN の B チャンネルを同時に利用する通信方式(マルチチャンネル)により 128kbps を実現することも可能です。但し、通信方式(マルチチャンネル)の場合、マルチチャンネルに対応したダイヤルアップルータが必要となりますのでご注意ください。

・通信方式(マルチチャンネル)の場合、ターミナルアダプタで接続することはできません。

3.4.設定情報

以下のような接続に必要な各種項目については、弊社で「接続上の取り決め事項」を作成し、利用ユーザーにお知らせします。

項目
電話番号
センター確認コード(ユーザー側)
センター確認コード(センター側)
パスワード
ファイル名(ファイルID)
ファイルアクセスキー

項目
レコードサイズ・ブロックサイズ
サイクル管理
複数ファイル転送
データ圧縮
リカバリー方法
TTC 制御文字(PC/標準)

なお、全銀 TCP/IP 手順を利用する場合は、IP アドレスの設定が必要です。「5.ISDN 接続におけるダイヤルアップの設定」をご参照ください。

全銀 TCP/IP 手順において、通信ポートは 5020 を使用します。

を付した項目は、当方から提示いたしますが、利用ユーザー側のシステム仕様によって、変更することが可能です。

4.FTP による接続

4.1.利用回線

情報配信システムとユーザーシステムとの接続回線には、NTT 東日本の提供する総合デジタル通信網(ISDN)(「INS ネット 64」)またはインターネットを利用します。

一般電話回線(アナログ回線)や専用回線を利用した、本システムへのダイヤルアップ接続は、利用できません。

4.2.通信機器

ISDN ダイヤルアップによる FTP をご利用になる場合は、ISDN のデジタルデータ回線終端装置(DSU)及びダイヤルアップルータ・ターミナルアダプタ等が必要です。

回線は、ISDN(64kbps)を利用します。

ISDN の B チャンネルを同時に利用する通信方式(マルチチャンネル)により 128kbps を実現することも可能です。但し、通信方式(マルチチャンネル)の場合、マルチチャンネルに対応したダイヤルアップルータが必要となりますのでご注意ください。

インターネット接続による FTP をご利用になる場合は、インターネットへ接続できる機器が必要です。

・通信方式(マルチチャンネル)の場合、ターミナルアダプタで接続することはできません。

4.3.設定情報

以下のような接続に必要な各種項目については、弊社で「接続上の取り決め事項」を作成し、利用ユーザーにお知らせします。

項目
ダイヤルアップ時の電話番号
インターネット接続時のホスト名
ユーザーID/パスワード

項目
ファイル名
転送モード(テキスト/バイナリ)

なお、ISDN 回線を利用する場合は、IP アドレスの設定が必要です。「5.ISDN 接続におけるダイヤルアップの設定」をご参照ください。

FTP では、アクティブモード及びパッシブモードの利用が可能です。
FTP のポートは、標準の 20、21 を利用します。

4.4.インターネット接続時の留意点

FTP において、通信は暗号化されません。インターネット経路上で、第三者に情報が漏洩する可能性があることを予めご了承ください。

インターネット接続に際して、ユーザーシステムのインターネットとの接続点におけるグローバル IP アドレスをご連絡いただきます。本システムではこの IP アドレスにより、接続元の確認を行います。このため、プロバイダーから固定グローバル IP アドレスが割り当てられない接続サービスは、ご利用いただけません。(バックアップ等の目的により複数の接続点から、本システムへの接続を希望される場合は、接続点分のグローバル IP アドレスをご連絡ください。)

本システムへの接続は、ホスト名(ドメイン名)で行ってください。弊社は本システムのグローバル IP アドレスを予告なく変更することがあります。

なお、弊社側システムの障害により正サーバからのファイル取得が行えない場合は、接続先を副サーバのホスト名に切替えてファイル取得を行うことで迅速にファイルを取得することが可能となります。通常は正サーバに接続してファイル取得を行ってください。

(ホスト名)

正サーバ	副サーバ
ftp1.tmi.tse.or.jp	ftp2.tmi.tse.or.jp

5. ISDN 接続におけるダイヤルアップの設定

5.1. ISDN 接続と認証方式

ISDN による全銀 TCP/IP 接続、FTP 手順に関しては、PPP(Point to Point Protocol) を利用したダイヤルアップを行います。

ダイヤルアップ認証には CHAP(Challenge Handshake Authentication Protocol)を利用します。なお、CHAP 認証方式は、単方向認証（センタ側でのユーザ認証のみの方式）を採用しています。

接続先電話番号・CHAP 認証情報(ID・パスワード)は、弊社で「接続上の取り決め事項」を作成し、利用ユーザーにお知らせします。

- ・ CCP 圧縮設定は使用できません（設定OFF）
- ・ マルチチャンネル接続を利用する場合、回線使用率監視によるチャンネル追加の設定が必要となります。

5.2. IP アドレス

(1) IP アドレスの提供

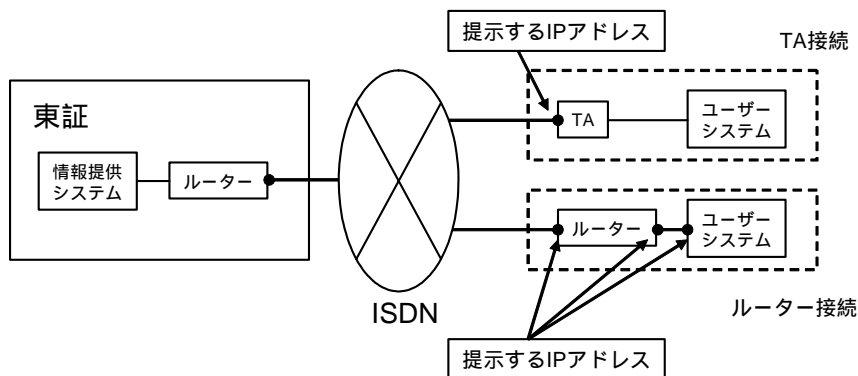
ISDN による全銀 TCP/IP 手順、FTP 手順を行う際は、ユーザーシステムにおいて、弊社より提示した IP アドレスを設定していただきます。提示方式としては、以下の 2 つを用意しています。

TA 方式

接続システムの IP アドレスを提示します。

ルーター方式

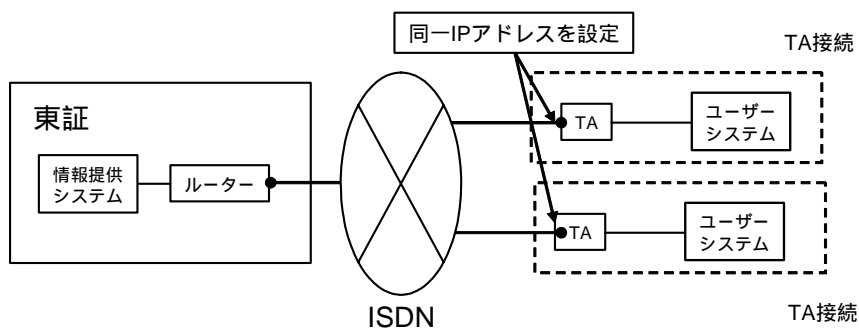
接続システムの IP アドレスに加え、ルーターLAN 側、WAN 側の IP アドレスを提示します。



(2) ユーザーシステムのバックアップについて

ユーザーシステムの障害対策として、ユーザーシステムから、本システムへのアクセス拠点(TA またはルーター)を複数とする場合でも、弊社から提示する IP アドレスは、原則 1 セットとなります。従って、全アクセス拠点(TA またはルーター)に、提示した同一 IP アドレスの設定を行なっていただく必要があります。(この場合、複数のアクセス拠点からの同時接続はできません)

ユーザーシステムの都合等で、複数 IP の提示をご希望の場合は、有償でのご提供となりますので、契約時にご相談ください。



6.提供ファイル

6.1.提供対象情報

本システムの提供する情報については、各情報提供サービスごとのファイル仕様書をご参照ください。

6.2.提供ファイル

(1) ファイルフォーマット

提供ファイルごとにファイルフォーマットを定めています。
ファイルフォーマットについては各情報提供サービスごとのファイル仕様書をご参照ください。

(2) 文字コード

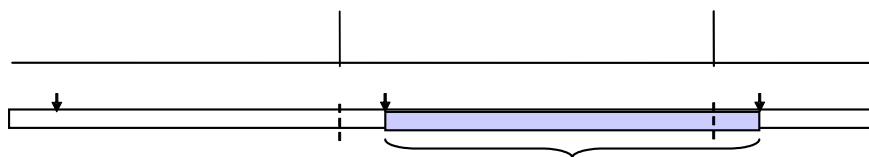
原則として、全銀ベーシック手順では EBCDIK コード(2 バイト文字を含む場合は KEIS コード)のファイルを、全銀 TCP/IP 手順と FTP 手順では、シフト JIS コードのファイルを提供します。詳細については、各情報提供サービスごとのファイル仕様書をご参照ください。

6.3.提供サイクル・提供時間

(1) 本システムの稼働時間

本システムの稼働時間は下記を除く時間となります。

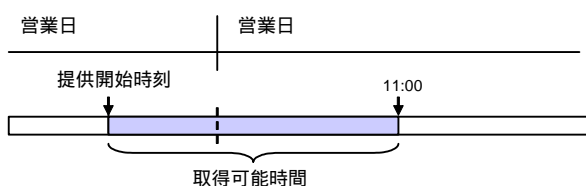
- ・ 営業日の翌日となる休業日の午前 5:00 ~ 休業日明け営業日の午前 5:00



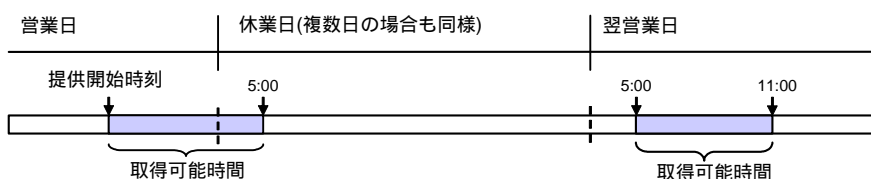
(2) 情報の取得可能時間

各情報の提供サイクル(日次・週次など)及び、提供時刻につきましては、提供情報(ファイル)ごとに異なります。これらについては、各情報提供サービスごとのファイル仕様書をご参照ください。

ファイルは、翌日が営業日の場合は、翌日の午前 11:00 まで取得可能です。



翌日が非営業日の場合は翌日の午前 5:00 まで、及び、翌営業日の午前 5:00 から午前 11:00 までの間、取得可能です。



週次提供、月次提供のファイルについても、取得可能時間は、提供日の翌営業日の 11 時までとなりますのでご注意ください(翌営業日の 11 時以降は取得できません)。

取得可能時間内であれば、ファイルは何回でも取得可能です。ただし、同一ファイルを連続して取得する場合は、取得間隔を 1 分以上空けてください。また、ファイル転送プロトコルに全銀手順を採用の場合には 2 回目以降の取得時には「再取得」設定でのオペレーションが必要となります。1 回目と同様の「取得」設定でのオペレーションでは 2 回目以降の取得はできません。

「再取得」設定とは、再送要求電文(同一サイクル番号)での送信要求を行う設定を指します。

7.障害時の運用

7.1.システム障害時

本システムの障害発生時には、その旨をファクス及び電子メールでご連絡します。
障害回復後、再度ファクス及び電子メールでご連絡しますので、ファイルの再取得をお願いします。インターネット接続の場合はユーザ様側で接続先の変更を実施いただくと迅速なファイル取得が可能となります。

7.2.情報の誤謬

提供情報に誤りがあった場合には、その旨と訂正情報をファクス等でご連絡します。
真正情報を集録したファイルを作成し、提供準備が整った段階で再度、ご連絡しますので、再取得をお願いします。

7.3.ファイル再取得

ユーザーシステムの障害等により、平常どおりファイルが取得できないまま、ファイル取得可能時間を過ぎてしまった場合、あるいは、取得したファイルを紛失(誤って削除等)してしまった場合等は、ファイルの再提供を行います。

この場合の提供は、原則、メールまたはメディア(DAT・CD-R・MO等)で行います。
なお、本システムでは、過去5営業日分のファイルまでを保存しています。それ以前のファイルの提供は、ご要望に添えないことがありますので、ご了承ください。

8.連絡先

(1) 当仕様書についてのお問い合わせ

(株)東京証券取引所 情報サービス部 情報提供サービス担当

電話:03-3665-1749

(受付時間:営業日 8:45 ~ 16:45)

(2) システム運用及び障害、ファイル再取得等のお問い合わせ

(株)東証システムサービス 統合運用担当

電話: 050-3772-0061、050-3772-0062

(受付時間:6.3.(1)に定める本システムの稼働時間)

お問合せの際に、「情報配信サービス(TMI)」を御利用いただいている旨を担当者にお伝えください。

9.改版履歴

日付	バージョン	内容
2005年5月24日	1.0	初版
2006年4月3日	1.1	「8.連絡先」の電話番号を変更
2006年7月7日	1.2	「外国株券等口座残高データ配信サービス」を追加 「3.4.設定情報」に接続ユーザーとの調整可能な項目を追加 「4.FTPによる接続」に、パッシブモードが利用可能であることを追加 「7.1. システム障害時」の連絡方法に電子メールを追加
2007年10月1日	1.3	「8.連絡先」の電話番号を変更
2008年5月26日	2.0	3.3.通信速度(2)「全銀TCP/IP手順」及び4.2 通信方式において、 『ISDNのBチャンネルを2本同時に利用する通信方式(マルチチャンネル)として128kbpsを実現することも可能です。・通信方式(マルチチャンネル)の場合、ターミナルアダプタで接続することはできません。』という記載を追加。 5.1.ISDN接続と認証方式において「・CCP圧縮設定は使用できません(設定OFF)」「・マルチチャンネル接続を利用する場合、回線使用率監視によるチャンネル追加の設定が必要となります。」の記載を追加 6.3.提供サイクル・提供時間(1) 本システムの稼働時間 における稼働していない時間から「平日の午前11:00~正午12:00」を削除 8.連絡先(2) システム運用及び障害、ファイル再取得等のお問い合わせにおける電話番号を次のとおり変更。電話:050-3772-0061、050-3772-0062(受付時間:6.3.(1)に定める本システムの稼働時間)
2008年7月7日	2.1	5.1「なお、CHAP認証方式は、単方向認証(センタ側でのユーザー認証のみの方式)を採用しています。」を追記。 6.3(2)情報の取得可能時間に「また、ファイル転送プロトコルに全銀手順を採用の場合には2回目以降の取得時には「再取得」設定でのオペレーションが必要となります。1回目と同様の「取得」設定でのオペレーションでは2回目以降の取得はできません。」を追記。

以上